

10月8日：決算シーズンが始まり大型株がVN指数を押し上げ

ベトナム株は火曜日に上昇、支持材料に欠ける中で好決算の企業に買いが集まった。

ホーチミン取引所のVN指数は0.52%上昇し、988.22ポイントで取引を終えた。

VN指数は月曜日に0.46%下落した。

出来高は1億7830万株で、売買代金は3.56兆ドンであった。

銀行、証券、小売、IT企業が株式市場の主役となった。

それら4つのセクターは1-2%上昇していた。

ベトコムバンク (VCB)、ベトナム投資開発銀行(BID)、テクコムバンク (TCB)、VPバンク (VPB)、SSI証券 (SSI)、ホーチミン市証券 (HCM)、ベトキャピタル証券 (VCI)、FPTコーポレーション (FPT)、モバイルワールドインベストメント (MWG) などが上昇した。

それらの企業は第3四半期決算において注目を集めたと Thanh Cong 証券がデイリーレポートで語った。

いくつかの銀行は第3四半期の決算を発表した最初の企業の一つだった。

ベトコムバンクは税引き前利益が17.52兆ドンで前年比51%上昇したと語った。

サコムバンク (STB) は税引き前利益が2.5兆ドンで、さまざまな指標で改善が見られた。TPバンク (TPB) の税引き前利益は50%増の2.4兆ドンと発表した。

その他のセクターでは不動産、保険、建設資材などが上昇をした。

それらのセクターに注目は集まったが、市場心理を一変させるような支持材料は殆ど無かったため、投資家は警戒感を持ち続けていた。

米中貿易対話が今週行われる。投資家は世界経済を2年間停滞させてきた貿易問題の解決に向かって2大大国の交渉がどのようになるかに注目をしている。

警戒心がVN指数を押さえつけるだろう。そして、現在のレンジで上下を続けるだろうと同社は語った。

農業、鉱業、エネルギー、水産加工、電気などが下落した。ペトロベトナムガス（GAS）、ジェマデプト（GMD）、サイゴンビール（SAB）、ビナミルク（VNM）などが振るわなかった。

ハノイ取引所のHNX指数は0.18%上昇し103.92ポイントで取引を終えた。

同指数は月曜日に1.36%下落していた。

出来高は2180万株で売買代金は3410億ドンであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。